

保護者の皆様、お子様の金沢大学への御入学おめでとうございます。

つるま後援会は保健学類に在籍する学生が、より良い学生生活を送れるように、学類生の保護者が加入し、支援するために平成12年度に設立されました。活動内容をご紹介します。

1. 臨床実習に必要なB型肝炎抗原抗体検査・C型肝炎、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎抗体検査を会費納入者向けに実施。
2. 保健学類図書室に保健学・医学関係の図書の寄贈（令和2年度は213冊寄贈）。国家試験対策図書は毎年購入。
3. 平成19年度からティーアワー（担任と学生とのコミュニケーションを図る場）を実施。今年度は感染対策を講じて実施予定。
4. 各分野の専門家を招聘しての特別講演会・セミナーや専攻毎に特別講義を実施。
5. 学生による金沢大学保健学類の広報活動支援
 - ・学生広報大使 卒業高校を訪問してのPR（今年度は実施しない）
 - ・キャンパスビジット（オープンキャンパス）に必要な物品購入の支援。令和2年度の夏はオンラインのみ、秋は対面開催でした。
6. 広報誌「つるまだより」の発行、発送。
新入生の保護者の皆様には入学式の記事を掲載する「秋号」から送付。
7. 特別事業
 - ・令和2年5月～6月頃のマスクが品薄だった時期に、共同購入にて1万枚購入し、保健学類在籍の学生に10枚ずつ配布。
 - ・令和2年度第1Qにおける生協での教科書購入の際の着払い送料の一部を負担。
 - ・令和2年度から、会費納入の1年生には病院見学や実験等で使える金沢大学の刺繍入り白衣の支給。

つるま後援会では、上記の事業の他、就職活動・課外活動への支援を通して学生1人1人を支援しています。

私がつるま後援会理事会に入ったのは三男入学当時の会長の言葉がきっかけでした。「珠洲から2時間半かけて金沢まで来ます。子どもと話す機会にもなります。大阪からでも東京からの保護者の方も活動できますよ！」と、とても軽やかに活動されている姿を拝見し、「大学から車で10分程度に住んでいる私が何もしないのは申し訳ない」と思ったのです。いざ入ってみると、先生方とも他の保護者の方からも就職のことも含めていろいろなお話しが聞けて大変有意義な時間となりました。何より大学を身近に感じました。

保護者の皆様には、つるま後援会の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。また是非一緒に活動して下さる方をお待ちしています。

秋のつるま後援会総会でお目にかかることが出来ますことを祈りつつ、ご挨拶の言葉とさせていただきます。